

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

(仮称)市民交流プラザふくちやま

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		3.0	0.19					3.0
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	4.0	-			
2 設備騒音対策								
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.79	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.21	4.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	5.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.3	0.39					3.3
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.42	3.0	-			
2 室温変動・追従制御性								
3 外皮性能		3.0	0.22	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.36					
5 温度・湿度制御								
6 湿度制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式	2F閲覧室に床吹出し空調を採用	4.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.8	0.13					2.8
3.1 昼光利用		2.4	0.30					
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口				3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 眩しめ対策								
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		3.0	0.29					3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策								
3 タバコ・カビ等								
4 レンオキゲン対策								
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.41	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.19	4.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.41	3.0	-			
4 騒音対策								
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.7
1 機能性		4.3	0.40					4.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性	一人あたり12㎡以上の執務スペース、ゆとりのある共用空間の確保	5.0	0.18	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.18	3.0	-			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている	4.0	0.64					
1.2 心理性・快適性		4.8	0.30					
1 広さ感・景観	天井高2.7m以上の確保、主要居室の十分な採光確保	4.0	0.18	4.0	-			
2 リフレッシュスペース	湯沸しコーナーや自動販売機スペースの確保	5.0	0.18					
3 内装計画	建物全体のコンセプトに則した内装仕上げの選定	5.0	0.64					
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	防汚性や維持管理に配慮した内装材・外装材の選定	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	清掃用流し確保	4.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31					3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48					
1 耐震性	建築基準法の25%増の耐震性の確保	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.4	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	引込ルートを2箇所行える。MDFなど地上階に設置。	5.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.29			3.4
3.1 空間のゆとり			4.3	0.31			
1	階高のゆとり	3.9m以上の階高の確保	5.0	0.32	4.0		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比=0.147の確保	4.0	0.68	3.0		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺のまちなみ・景観に対する十分な配慮	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	空間提供や中間領域を設けることで周辺地域へ配慮	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建築物の熱負荷抑制		集会所PAL低減率 48.5%	3.5	0.30	-	-	3.5
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20	-	-	4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	吹き抜けを利用した自然採光、自然通風	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネル設置	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率設備による省エネ、太陽光パネル設置	4.4	0.30	-	-	4.4
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=24%	4.4				
集合住宅の評価			3.0				
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	畳・障子(和室)、ビニル床材(各所)	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	持続可能な森林から算出された木材の使用率37.2%の確保	4.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		塗料・床仕上げ等に有害物質を含まないものを使用	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量70%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場100台、駐輪場28台分の確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	